

— 国スポ推進室 —

～令和7年度活動報告及び令和8年度活動内容（案）～

1. 本事業の概要・基本理念

令和12年(2030)の第84回国民スポーツ大会「かみあり国スポ2030」での上位入賞に向け、成年男子を中心として、令和2年度(2020)からプロジェクトを立ち上げ、全カテゴリーで選抜チームを結成し、チームの強化、選手発掘・育成を進めている。

令和6年成年男子が初めて中国ブロック大会を突破し、佐賀国スポに出場した。少年男女・成年女子はまだ厳しい状況は続くが、近年、安来高校の女子の春高バレーベスト8や安来高校男子の中国新人大会準優勝など、島根県協会を中心として一致団結して様々な事業を実施した成果がみられる。

また、県内の他カテゴリーの選抜チームや学生チーム、経験の有無にかかわらず指導者との交流を積極的に行い、地域展開にも注力している。将来的には、この活動が全県でバレーボールの普及、活性化に貢献できる活動となるよう目指し、令和5年度から、地域部を国スポ推進室内に設置した。

令和6年度は成年男子チームの主力となる選手を集め、チーム名を「バシレイア島根」として活動し、VリーグまたはSVリーグ参入を目標に、着実にチーム強化のレベルアップ、有望選手の獲得を進めている。

2. 令和7年度活動報告（成年男女）

【成年男子】バシレイア島根を主として

○成年男子選抜チームで各大会に出場

4月20日 中国クラブカップ島根県予選（大東町） 【結果】準優勝

6月7日～8日 中国クラブカップ（鳥取県米子市） 【結果】優勝

7月13日 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会島根県ラウンド出場
【結果】中国クラブカップ優勝のため予選免除

8月9日～11日 第43回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会 in 埼玉県
【結果】予選は神奈川県に勝利

決勝トーナメント 1回戦福島県代表に勝利

2回戦栃木県代表に勝利

3回戦和歌山県代表に敗戦

8月16日～17日 第79回国民スポーツ大会バレーボール競技中国ブロック大会 in 鳥取県
【結果】準優勝（岡山に勝利、広島に敗戦）

※ふるさと選手6名参加

9月13日～14日 天皇杯中国ブロックラウンド出場（島根県）

【結果】トーナメント 1回戦にて鳥取県代表チームに勝利

2回戦にて広島県代表チームに敗戦

○依頼のあった中学校・高校（選抜含む）と合同練習会を行い、地域部のバレーボール活動に貢献

○原則週2回の練習を実施（平日1回練習、土日どちらか1回：練習試合等）

○愛媛県に遠征実施

【成年女子】

○成年女子選抜チームで大会出場

6月7日～8日 中国クラブカップ（鳥取県米子市） 【結果】3位

7月13日 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会鳥根県ラウンド出場 【結果】準優勝

8月8日～11日 第44回全日本バレーボールクラブ選手権大会 in 福岡

【結果】予選 MAHARO（栃木）に勝ち予選突破

決勝トーナメント2回戦 さくらクラブ（石川）に敗戦

8月16日～17日 第79回国民体育大会バレーボール競技中国ブロック大会 in 鳥取

【結果】3位（岡山に敗退）

※ふるさと選手2名参加

9月13日～14日 天皇杯皇后杯中国ブロックラウンド出場 in 鳥根

【結果】1回戦玉野光南高に敗戦

○週2回（金と土日のどちらか）の練習を実施

○土日は不定期で高校生や大学生と練習試合を実施

【地域部】

○合同練習会

6月26日 松江市内中学生合同練習会 松江工業体育館

8月31日 出雲市拠点校活動協力（1回目） 大社高校体育館

9月15日 出雲市拠点校活動協力（2回目） 大社高校体育館

10月4、5日 隠岐の島町 合同練習会 隠岐の島町総合体育館

11月3日 出雲市拠点校活動協力（3回目） 大社高校体育館

11月8日 邑南町練習会 矢上高校体育館

12月20日 益田市合同練習会 益田高校体育館

12月21日 浜田市合同練習会 浜田第一中学校

・新たに隠岐の島で開催した。参加者に好評だったので、来年度も継続していきたい。

・出雲では、バシレイア島根と協力し、選手に参加してもらい、参加者に喜んでもらった。

・練習会では指導普及部、各カテゴリーの先生方と連携して実施している。

3. 令和8年度の活動内容（案）

①令和8年度活動内容（案）

【成年男子】バシレイア島根を主として

○活動計画：週2回で平日練習・土日どちらか練習試合等を基本とする。

※7月～10月の大会シーズンは週3、4回を目標。

○大会：すべて出場する。

中国クラブカップ（鳥根県）・全国クラブカップ（香川県）・天皇杯（山口県）・国民スポーツ大会（青森県）

○遠征計画（中四国・関西・関東）通年で定期的実施予定。

○地域貢献活動：依頼のあった中学校や高校等との練習会や練習試合

○ふるさと選手の招集：昨年度と同等レベル

○令和8年度より3名のVリーガーがUターン帰省予定（R9年度3名、R10年度4名予定）

- 2026年度より実業団リーグ大会への参加（2027年1月～2月 大会予定 東西決定戦3月）
- 寄付金（イベントの実施、サイン・SNSでの周知）

【成年女子】

- 活動計画：週2回の練習（平日練習1日と土日のどちらか）
令和8年3月からスタート予定（国スポ中国ブロック大会前に遠征を予定）
- 大会：選抜チームで下記の大会に参加予定
中国クラブカップ・全国クラブカップ・天皇杯・国民スポーツ大会
- 令和8年度の活動について
 - ・各種大会への参加に向けて、活動の安定化とチームの強化を図る。
 - ・ふるさと選手（島根出身の選手）や高校・大学卒業した選手への勧誘活動を充実させる。
 - ・選手とスタッフの充実を図り、土台となるチームの安定化を図る。

【地域部】

- 練習会を各地で開催するために、各カテゴリーの指導者への協力要請、連携強化
- バシレイア島根の選手協力要請

②国スポ推進室について

- ・バレーボール協会理事長の諮問機関として、理事長の要請に従い定期的に会議を開催する。
- ・各専門部、カテゴリーと連携し、組織の人材を適材適所に配置し、効果的な事業を提案していく。
※令和8年度組織については、現在検討中

4. 今後の課題

- 重点 「島根にゆかりのある選手の確保・育成」 「指導者育成」 「安定した予算の確保」
- 具体

(1)地域部の全県展開

『12市町村へバレーチームを作る。（拠点校活動を含む）』

※各市町村のバレー協会との連携

※指導者の育成（規約作成のもと）

練習方法等の情報提供、指導者派遣により、各地域の小学連・中学連・高体連・クラブ実連等の複数指導者に運営・活動を担ってもらうよう支援する。

※独自の大会を開催

※懸念事項

- ・各地域での体育館確保（金額算出等の検討）⇒費用を県バレーボール協会から支援。
- ・指導者の発掘・確保

(2)バシレイア島根を起点とした、国スポへの協力体制の強化、機運の醸成

- ①事業への各専門部の協力
- ②各事業への選手招聘
- ③マスコミの活用